



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成 30 年 5 月 1 日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



柳田植物公園 桜回廊

第52号の内容

- 3月定例会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2－4
- 2月会議、4月会議・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- 平成29年度出欠状況表・・・・・・・・・・・・ P 5
- 3月定例会議一般質問・・・・・・・・・・・・ P 6－11
- 議会活動と特別委員会活動報告・・・・・・ P 12
- 常任委員会レポート・・・・・・・・・・・・ P 13
- 3月定例会の議案質疑・・・・・・・・・・・・ P 14－15
- まちかどインタビューと編集後記・・・・・・ P 16

第52号

6日～15日

平成30年度当初予算

●一般会計予算額	178億7300万円
●7 特別会計予算額	69億4659万円
予算総額	248億1959万円

※水道事業会計	収益的収支	7億1651万円
※病院事業会計	収益的収支	26億4398万6千円

○一般会計当初予算主要事業

☆消防団員確保対策強化

- ・団員報酬の見直し（11,259千円）
- ・準中型免許取得助成（1,587千円）

☆自主防災組織リーダー育成事業（675千円）

- ・防災士の取得補助について、40人（前年度+10人）を予定。

☆民間宿泊施設魅力向上支援事業（12,000千円）

- ・民間宿泊施設が、多様化する観光客ニーズに応えるための設備投資に対して助成（補助率1/2）限度額300万円）。

☆農地保全対策支援事業（8,000千円）※制度拡充

- ・農地を保全するため、条件を満たす農業者の機械購入に対して助成するもの対象機械の拡充：新しいモア（自走式草刈り機）を追加。
- 助成率の拡充：認定新規就農者・農地所有適格法人は20%。

☆遊覧船整備事業（9,027千円）

- ・「イカの駅（仮称）」開業に合わせて、九十九湾での運行を予定している遊覧船を改修。

☆ふれあい公社出資金（50,000千円）

- ・ブルーベリー事業の更なる振興に向けて、(株)能登町ふれあい公社が柳田食産(株)の事業を継承していくために、必要な資金を出資。

☆障害者医療費助成事業（81,417千円）

- ・65歳以上への給付について、町内医療機関に限り自動償還とすることで、本人の申請手続を省略することができる。

平成30年第2回能登町議会3月定例会議が開催され、平成30年度当初予算及び平成29年度の補正予算（一般会計・特別会計）、条例改正を含む議案48件が提出された。議案は、各常任委員会審査を経て、最終日に全議案を原案のとおり可決した。また、追加日程があり、人事案件2件が提出され原案のとおり同意した。続いて議会案が提出され、発議2件の意見書及び発委1件が提出され、原案のとおり可決した。また、継続審査だった請願1件を採択した。また、13日には町政全般について7人が一般質問を行った。

○発議2件の意見書を国に提出

★バリアフリー法の改正及びその円滑な施行を求める意見書

1 地域の面的・一体的なバリアフリー化を進めるため、バリアフリー法の基本構想制度の見直しも含めた新たな仕組みについて検討すること。

2 公共交通事業者がハード・ソフト一体的な取組を計画的に進める枠組みについて検討すること。

3 バリアフリー施策を進める際には、高齢者、障がい者等の意見を聞くこと。併せて、バリアフリーの促進に関する国民の理解を深めるとともに、その協力を求めるよう国として教育活動、広報活動等に努めること。

4 バリアフリー法改正後速やかな施行を行う観点から、改正内容について十分に周知を行うこと。

★所有者不明の土地利用を求める意見書

1 所有者不明土地の発生を予防する仕組みを整備すること。

2 土地所有権の放棄の可否や土地の管理責任のあり方等、土地所有のあり方の見直しを行うこと。

3 合理的な探索の範囲や有益な所有者情報へのアクセスなど、所有者の探索の合理化を図ること。

4 所有者不明土地の収用手続の合理化や円滑化を図ること。

5 収用の対象とならない所有者不明土地の公共的事業の利用を促進すること。

☆食育推進事業（1,063千円）

- ・「ふるさと自慢料理レシピ集」の発行を予定。スマートフォンで気軽に郷土料理レシピが検索できるように「クックパッド」等インターネットレシピサイトでの掲載も検討。

☆学童保育事業（25,431千円）

- ・新たに鵜川地区に「くぬぎ学童保育」を開設など。

※平成29年9月定例会議で採択された請願

☆海洋教育センター整備事業（505,567千円）

- ・金沢大学が平成30年度に新設する「生命理工学類海洋生物資源コース」を誘致し、当町における新産業の創出や定住人口の拡大等の地域活性化を図るため、研究施設を整備。

☆能登高等学校魅力化事業（43,045千円）

- ・総務省地域力創造アドバイザー制度を活用し、魅力化事業の充実を図る。引き続き給付型奨学金支援や国立大学入学一時金支援事業などの支援事業のほか、引き続き「まちなか鳳雛塾」を運営。

☆ドブネ収蔵庫整備事業（9,615千円）

- ・平成29年度にドブネ3艘を搬入、平成30年4月仮オープン予定
平成30年度は操船具類13点の保存修理を実施。

☆のと未来会議（仮称）（911千円）

- ・若者が集まり、能登町の未来について語り合う場をつくる。
学び、対話し、人材を育成しながら、プロジェクトを企画・実施。

☆定住促進助成金（1,000千円）※対象拡充

- ・新規学卒者、U I ターン者などが町内企業等に雇用された場合、
申請年と翌年の2ヵ年各5万円を助成。平成30年より助成対象者を公務員以外に拡充。

☆ふるさと住宅改修等助成金（10,000千円）※拡充

- ・移住者の新築住宅購入及び中古住宅改築に要する経費を助成。平成30年度より新築助成上限を150万から200万円に拡充、実家等改築についても補助率を1/3から1/2に拡充。

☆新統合庁舎整備事業（1,870,256千円）

- ・新庁舎及び総合支所は、平成31年度完成予定。

☆柳田総合支所整備事業（238,167千円）

- ・現庁舎後方に整備予定。隣接する柳田山村開発センターの改修も実施。

☆内浦総合支所整備事業（428,314千円）

- ・内浦福祉センターを解体し、松波公民館との複合施設として整備予定。

☆小木地区都市再生整備計画事業（617,272千円）

- ・「イカのまち小木」を発信し交流人口を拡充。住みたくなるまちづくりを進める。平成30年度は九十九湾に「イカの駅（仮称）」を整備。

皆さんの請願・陳情
請願の審査結果

採択した請願

○請願第3号

「柳田地区コミュニティーセンター」の建設に関する請願

（提出者）

柳田公民館長

新出 豊 他14名

（紹介議員）

國盛 孝昭

宮田 勝三

市濱 等

（請願の要旨）

柳田公民館は合併後、事務所を移転しながら現在は、柳田山村開発センターの1階事務室を借用し活動を行っています。各種団体の生涯学習の活動拠点として、「柳田地区コミュニティセンター」建設をお願いするものがあります。

現在、藤つるから糸を紡ぎ、衣を作る体験事業を行っており、藤の糸伝承館（仮称）との併設も目指します。

☆県営ほ場整備事業（194,768千円）

- ・柳田中央、柳田南部、五十里・黒川、寺五地区における県営事業の負担金のほか新たに天坂・久田地区の採択関連事業負担金を計上。

☆イカ釣り船団支援に関する予算（3,000千円）

- ・漁船特殊保健加入支援事業（500千円）
漁船保険の戦乱特約加入助成（1/2、上限50千円）
- ・大和堆漁場保全緊急対策事業（1,000千円）
イカ釣り関係者による陳情や要望活動などに要する経費を助成。
- ・イカ釣り船団応援事業（1,500千円）
2月～4月にガバメント・クラウド・ファンディングを実施（目標5,000千円）小木船団15隻に対して能登町産米や船凍イカ専用箱等の支援を実施。

☆アスリート強化支援事業（500千円）H29～

- ・東京オリンピック・パラリンピックでの活躍が期待されるアスリートの支援。

【2月会議】
26日



平成30年2月26日に第1回能登町議会2月会議が開会し、報告1件、請負契約締結に係る議案1件が提出された。議案1件は全体審議で行われ、全会一致で原案のとおり可決した。

○報告第1号 専決処分
の報告について

専決第1号 損害賠償額の決定及び和解について
(賠償の理由)

場所 能登町字上町ほ
字29番地2

概要 台風21号の接近による強風により、町有地の樹木が倒れ、物件を破損させた。

金額 65万5646円

○議案第1号 請負契約の締結について(平成29年度 海洋教育研究施設建設に伴う建物解体工事)

【4月会議】
18日

平成30年4月18日に第3回能登町議会4月会議が開会し、人事案件2件が提出され賛成多数により原案のとおり同意した。

○議案第52号 副町長の選任について



下野 信行 氏

○議案第53号 教育委員会教育長の任命について(再任)



中口 憲治 氏

平成30年第3回4月会議の審議結果 (賛否の分かれたもののみを掲載します)

賛成 ○、反対 ×、欠席 欠、－ 議長は採決に参加しません。

結果	議案	議員名												
		馬場等	田端雄市	金七祐太郎	國盛孝昭	市濱等	小路政敏	酒元法子	椿原安弘	河田信彰	南正晴	向峠茂人	志幸松栄	宮田勝三
同意	議案第52号 副町長の選任について	○	×	○	欠	○	○	○	○	○	○	－	○	○
同意	議案第53号 教育委員会教育長の任命について	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	○	－	○	×

～開かれた議会～

「開かれた議会」のひとつとして、町民の皆様に議会活動をより一層知っていただくため、議会・各常任委員会などの議員出欠状況をお知らせします。

平成 29 年度出欠状況表

出席 ○ 遅参、早退 △ 欠席 × 対象外 - オ…議長が各委員会にオブザーバーで出席する時

月 日	会議名	議員名	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	椿原 安弘	河田 信彰	南 正晴	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶 合眞一
29/10/04	決算特別委員会 (～ 6・16 日)		○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
29/10/19	議会運営委員会		-	-	○	-	-	○	-	○	○	○	オ	-	○	-
29/10/19	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29/10/19	10 月会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29/10/20	広報編集特別委員会		-	○	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○
29/10/24	教育厚生常任委員会管外視察 (～ 26 日)		-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	○	○	-	×
29/11/01	議会運営委員会		-	-	○	-	-	○	-	○	○	○	オ	-	○	-
29/11/13	議会運営委員会		-	-	○	-	-	○	-	○	○	○	オ	-	○	-
29/11/13	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29/11/13	11 月会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29/11/13	11 月会議 (議案質疑)		-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	○
29/11/14	まち・ひと・しごと創生特別 委員会視察研修 (～ 16)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29/11/28	議会運営委員会		-	-	○	-	-	○	-	○	○	△	オ	-	○	-
29/12/01	全員協議会		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
29/12/06	12 月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29/12/06	12 月定例会議 (議案質疑)		○	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○
29/12/07	各常任委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
29/12/12	12 月定例会議 (一般質問)		○	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-
29/12/15	12 月定例会議 (採決)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/01/22	広報編集特別委員会		-	○	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○
30/01/24	総務産業建設常任委員会		○	-	-	○	○	-	○	○	○	-	-	○	-	-
30/02/01	議会運営委員会		-	-	○	-	-	○	-	○	○	△	オ	-	○	-
30/02/02	まち・ひと・しごと創生特別 委員会研修会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/02/26	議会運営委員会		-	-	○	-	-	○	-	○	○	○	オ	-	×	-
30/02/26	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
30/02/26	2 月会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
30/02/26	2 月会議 (議案質疑)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
30/02/26	議会運営委員会		-	-	○	-	-	○	-	○	○	○	オ	-	×	-
30/03/01	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△	○
30/03/02	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
30/03/06	3 月定例会議		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/03/06	3 月定例会議 (議案質疑)		○	○	○	-	○	-	○	○	-	○	-	○	○	○
30/03/07	各常任委員会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/03/08	各常任委員会 (総務産業建設)		○	-	-	○	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-
30/03/13	3 月定例会議 (一般質問)		○	○	○	×	○	-	-	-	○	○	-	○	-	-
30/03/15	3 月定例会議 (採決)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/03/15	全員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30/03/22	広報編集特別委員会		-	○	-	-	○	○	△	○	-	-	-	-	-	○

いっばん質問

3月定例会議の一般質問（13日）

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

問 就学援助費の支給を入学前に

答 平成31年度から3月支給を実施したい



田端 雄市 議員

答 教育長

就学援助費については、国の補助金交付要綱の改正により、四割の市町村が実施することとなった。本町も平成31年度には、入学前の3月に支給する予定で進める。

問

低所得世帯の家庭の子どもに対して支援する就学援助費は、入学・進級時に学用品等を揃えるための費用が必要な3月に実施してこそその意義がある。本町の考えを問う。



笑顔がいっぱい新一年生

問 事業承継にさらなる支援を

答 国の予算等を注視し取り組む

問

国の予算等に、事業承継に注力する施策が盛り込まれている。町の現状を鑑み、いまこそ今まで以上に商工会事業の支援に取り組むべきではないか。

答 町長

事業承継は、重要な課題である。商工会には、県・町補助金等が交付され、支援を続けてきている。また、今後も指導団体として経済活性化も期待している。引き続き国の予算・税制措置等の支援施策を注視して、取り組むたい。

問 その他質問

公社の社長の兼務は適切でない

ふれあい公社の管理・運営施設が年々増えている。それに伴い、指定管理料も増える一方である。指定管理が始まってから、多年経過してきた。施設等の意義や意味合いも変わってきている。収益を上げられる組織として見直し、廃止等も考えるべきである。そのような議論など考慮すると、町長が社長であることが適切でないと考える。全国公募で能力ある人材を求めたらどうか。

答 町長

適任者がいれば、譲る考えはある

社長職に固執していない。適切な方がいれば、譲る考えはある。公募については、株式会社であり、役員会に諮って検討したい。



金七 祐太郎 議員

問 防火水槽の整備について

答 地区からの要望に応じ整備する

問

能登町における防火水槽、耐震性貯水槽の数、その防火水槽の耐震性はどうか。今後の整備計画と、現在設置されている土地の所有区分を聞きたい。

答 町長

防火水槽は、町内で281基、そのうち耐震性を有している水槽は、87基。防火水槽が設置されている土地の所有者区分は、町有地82箇所、県有地11箇所、国有地が3箇所、私有地が165箇所、

問

寺・神社が13箇所、町内会が7か所。今後は地区の要望に応じ、現地を確認の上、検討し順次計画的に整備していきたい。

土地所有者が個人の場合、固定資産税がかかっていると思いますが、土地所有者の固定資産税の課税の状況は。また、今後、固定資産税の免除、減免等の考えはないのか。

答 町長

私有地に立地している水槽は185基あり、そのうち固定資産税が課税されている土地が169筆ある。防火水槽は、公益のために直接専用する固定資産として固定資産税を減免できると考える。

答 税務課長

減免手続きは、減免申請により防火水槽の設置に要する面積に係る土地の固定資産税の税額を免除することになる。

固定資産税減免申請書が税務課、内浦、柳田の各庁舎、小木、鶴川の各支所の窓口へ備え付けてあります。必要事項を記入の上、申請をお願いします。



私有地に設置された防火水槽もあります

問 当初予算の施策ベスト3はなにか

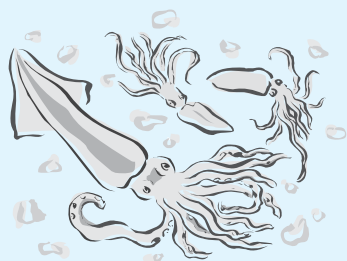
答 観光交流人口の拡大施策の3つ

問

新庁舎、総合支所以外の施策で、町長が目玉事業と思う施策ベスト3はなにか

答 町長

観光交流人口の拡大に重点を置いた予算編成となっており、その中でも目玉事業として、ハード事業は、観光交流センター「イカの駅」、海洋教育研究センターの整備、ソフト事業として、民間宿泊施設魅力向上支援事業がベスト3になる。



問 平成30年度予算の財源について

答 国庫補助金、町債、基金による



馬場 等 議員

問

一般財源である町税や地方交付税が年々減少する中、この大型プロジェクトにより増える約25億円の財源をどのように手当てするのか。

答 町長

大型事業につきましては、国庫補助金、町債、基金によって財源を手当てしております。町債につきましても、新統合庁舎整備事業、総合支所整備事業、海洋教育研究センター整備事業、小木地区都市再生整備計画事業の4つの大型事業で計28億5480万円の起債を予定している。

問 定員管理の進捗状況について

答 平成30年度では、1人多い

問

普通会計において平成31年度4月1日までに、平成26年度4月1日対比で18人の職員を削減するとなっております。平成30年度の目標数値は231人であるが、予算資料では237人となっている。その理由と平成31年度4月1日までに18人削減は可能か。

答 町長

平成30年度においては、特別職の3名、短時間勤務の2名を差し引きすると1人多くなります。行政改革により、行政職は減しておりますが、保育士の増員や人員の異動や配置なので、特別会計から普通会計へ異動することにより増減もあり、ご理解いただきたい。



たくさんの誕生の歴史も老朽化、旧内浦町健康福祉センター

問 その他質問

公共施設等の削減目標について

2026年度までの10年間で、20%削減となっているが、その対象施設の選定や、住民の皆さんとの話し合いなどはできているか。

答 町長

31施設の年次計画等を作成

平成29年度から、平成38年度までの10年間で第一期として、削減目標は延べ床面積で20%削減するものとしている。現在31施設が廃止、除却、解体予定の対象リストに当たっており、この31施設の年次計画等を作成して実施しているところである。住民の皆さんとの話し合いについては、削減目標の31施設については、老朽度・危険度の高い施設、未使用で近隣周囲に悪影響を及ぼしている施設がほとんどであり、町民との情報の共有というのは特に行っていない。



市濱 等 議員

問 大雪と漏水災害この経験をどう生かすか

答 住民の不安解消に今後対策を検討する

問

寒波及び漏水による断水に対してなぜ災害対策本部を立ち上げなかったのか。漏水事故は海岸線に集中していた。また平生でも水道管の事故が多発している。早急に旧管路の布設替えが必要ではないか。また減免処置の条件として家庭内の水道管の総点検をお願いすればどうか。

答 町長

災害本部立ち上げには設置基準がある。今回の漏水災害は各家庭での漏水確認が有効であると判断し消防団、検針員と共同に対応した。
凍結防止対策は、チラシ、告知放送等、寒波で凍結するおそれがある旨を早期に周知し、業者にも点検、確認していただき事故防止に努める。



生活用水の確保に必死

問 本庁舎の利活用アンケート調査について

答 跡地利用であり建物利用ではない

問

新庁舎検討委員会が現本庁舎は大変危険な建物だから新庁舎が必要だと新庁舎の建設が始まった。このような土地に『役場以外の公共施設をつくればどうか』という設問がある調査が必要なのか。また本庁舎は宇出津地区住民だけのものではない。

答 町長

能都庁舎跡地利用検討委員会が今後の利活用について一番身近な住民にアンケート調査を実施した。今回のアンケートは本庁舎建物の利活用ではなく、跡地の利活用のためのアンケートである。集計結果については後日報告する。

問 婚活事業について聞く

答 12組の成婚実績があり 年間2組の成婚を目標に努力する



南 正晴 議員

問

町民課が窓口となつて
いる婚活事業の取り組み
や成功例を示せ。テレビ
番組で行っているように
都市部の女性を集団で招
き見合いを企画してはど
うか。町単独で難しいな
ら広域圏で取り組んでみ
てはいかがか。

答 町民課長

平成26年度から取り組
んでおり、縁結び隊のみ
なさんにより見合い20件
婚活イベントも20件行い
本年2月末現在で12組の
成婚をなし遂げている。

答 町長

能登町創生総合戦略で
は、平成27年度から31年
度までの5年間で成婚数
10組を目標としていたが、
すでに12組の成婚数があ
り目標は達成したが、現
状に慢心せず年間2組の
成婚を目標に努力する。
テレビの企画は興味を引
くが、今のところ実施は
考えていない。

婚活対象となる人の顔
ぶれにあまり変化がない
ことから、今後は奥能登
四市町で事業に取り組ん
で行く事や、女性が少な
い情勢の参加者を増やす
ために町外からの参加を
呼び込む方策を検討して
いきたい。

答 広報及びホームページで情報提供していく

問 鳥獣被害の実情や対策の知識を普及せよ

問

鳥獣被害、特にイノシ
シによる平成29年度の被
害額、及び被害対策に投
じてきた金額はいくらか。
狩猟期間と有害鳥獣駆除
期間の違いはなにか。捕
獲後は埋設処理も大変だ
が埋め立て処分場若しく
は焼却処分業への持ち込
みは可能か。イノシシの
生態について正しい知識
の普及をはかるべきでは
ないか。鳥獣の焼却施設
を建設できないか。

答 農林課長

水稲については被害面
積16畝。金額で1460
万円。

平成22年度から被害対
策に投じてきた額は平成
29年度までで累計630
0万円。

狩猟については法律に
より11月15日から翌年2
月15日までであり、有害
捕獲は町が平成29年度に

答 環境対策課長

許可したのは4月1日か
ら3月31日としており、
平成30年度の捕獲期間は
平成29年度の捕獲状況を
踏まえて定める。

猟期以外に関わらずイ
ノシシは一般廃棄物とし
て処理されており、30キ
ロ未満のイノシシであれ
ば三郷斎場で焼却処理が
可能である。埋め立て処
分場では10キロにつき1

答 町長

00円で埋設処理をして
いる。

鳥獣被害に遭いにくい
環境づくりに集落で取り
組めるよう広報、ホーム
ページで情報提供してい
く。町単独での焼却処理
は難しいが、奥能登2市
2町で県の助言を受けな
がら今後の処理方法につ
いて検討している。



捕獲されたイノシシ



志幸 松栄 議員

問 学校教育の現状について問う

答 教育振興基本計画を元に環境整備に努める

問

町立小中学校適正配置基本方針の進捗状況について、また教育振興基本計画での学校教育の現状と、小中一貫教育制度導入の考えは。

答 教育長

まず適正配置について、町の将来を担う子供たちのより良い環境の整備を基本に現在まで進め、今後よりよい教育環境のもと確かな学力の向上と豊かな人間性を培うことを第一に、児童生徒並びに関係各位の意見等も参考にしながらコンセンサスを図って参りたい。

また学校教育の現状では知・徳・体のバランスのとれた子供たちの育成に努めています。

次に、小中一貫教育の件ですが、導入の予定はしていないが、少子化の動向を見ながら検討することも考えられます。

問 除雪の対策について問う

答 行政と住民が一体となった自助・共助・公助の取り組みが重要

問

高齢化地域の除雪対策と融雪装置の普及は、また除雪重機オペレーター不足とその要請対策を問う。

答 町長

高齢者や一人暮らし家庭が増える中で除雪機械が入らない箇所は、町内会や自主防災組織により活動することも地域と人のつながりの強化になるのではと思いますし、融雪については装置の可能性や範囲、問題点答を検討し考えていきたい。

次にオペレーターの件ですが年々減少しているのが現状です。その養成対策としては県の事業であります。操作技能研修会が開催されており、その参加を呼びかけています。



想定外の大雪に補正予算で対応

問 その他質問

当初予算編成の想いについて問う

予算編成にあたり苦労した点は何か。

答 町長

教育・福祉・防災等の充実に取り組んでいきたい

毎年限られた財源を有効に使うために、いかに選択と集中を行うか、また、それぞれの必要性や緊急性を諮ることが最重要であると考えている。

(その他の質問者)

河田信彰議員

1月から3月の主な議会活動

- 1月6日 町消防団出初式
- 1月7日 町成人式
- 1月10日 交通安全祈願祭
- 1月22日 広報編集特別委員会
- 1月24日 総務産業建設常任委員会
- 1月30日 石川県町村議会議長会臨時総会
- 2月1日 議会運営委員会
- 2月2日 まち・ひと・しごと創生特別委員会研修会・講演会
- 2月26日 議会運営委員会・全員協議会・第1回能登町議会2月会議
- 3月1日 全員協議会（～2日）
- 3月6日 第2回能登町議会3月定例会議（議案上程）
- 3月7日 各常任委員会（～8日）
- 3月13日 第2回能登町議会3月定例会議（一般質問）
- 3月15日 第2回能登町議会3月定例会議（採決）
- ・議会運営委員会・全員協議会

各学校卒業式

まち・ひと・しごと創生特別委員会活動報告

平成30年2月2日（金）、能登町議会まち・ひと・しごと創生特別委員会の研修会が行われた。

今回の研修会は「農業生産法人が挑むビジネス化と成長戦略」と題して、

大和田悠一氏と楠友博氏のお二人にご講演をいただいた。お二人は東京の有限責任監査法人トーマツ農林水産業ビジネス推進室でご活躍されており、農業ビジネスで成功

されている団体などの実例を挙げて、売上げより収益をあげることが大切だとの話など、会場にいられた農業関係者約50名に興味深く話された。



アグリビジネスの可能性を探る

総務産業 建設委員会

榑原安弘（委員長）
市濱 等（副委員長）
馬場 等 國盛孝昭
酒元法子 河田信彰
宮田勝三

したがって出資金500万円の根拠は、実際の資産購入に対して、買取価格として出資するものである。

3月7日と8日に委員会を開催し付託された議案16件を審査。全議案賛成多数と全会一致で可決すべきものと決定した。

審査過程での主な質疑応答は、次のとおり。

●一般会計予算

能登町ふれあい公社への出資金5000万円の根拠は。

柳田食産の平成28年度末時点で貸借対照表の資産の合計が6645万円となっている。

この全ての資産について5000万円を原資にして、株式会社ふれあい公社が買い取るということである。

平成31年4月からの運用を目指している。

柳田・内浦総合支所の概要は。

各地区からの答申を受けまして、基本構想を策定し、総合支所の執務、窓口は、1階に置くとしている。

高齢者や障害者が、利用しやすいバリアフリー環境を確保したいと考えている。

柳田については、隣に柳田山村開発センターがあり、耐震補強はしてあるが、利用しやすいようにエレベーター整備が必要と考える。

内浦については、社会福祉協議会や公民館も入っている福祉センターと統合する計画である。

基本的には、各総合支所とも10名程度の職員配置を考えている。バスの待機所やトイレ等合わせて、柳田総合支所は、山村開発センターを含め1800㎡、内浦総合支所は1600㎡程度の整備を予定している。

税関係でコンビニ収納の状況は。

輪島市、穴水町、能登町の3市町共同で行い、

教育厚生 委員会

金七祐太郎（委員長）
田端雄市（副委員長）
小路政敏・南 正晴
向峠茂人・志幸松栄
鍛冶谷眞一

3月7日、委員会を開催、付託された議案34件を審査、全会一致で可決すべきものと決定した。

継続審査となっていた請願1件は採択すべきものとした。

審査過程での主な質疑応答などは次の通り。

すこやか赤ちゃんのお祝い金の人数と金額は。

70人の誕生を見込み、第一子10万円、第二子20万円、第三子以降は30万円を贈呈する。

民生児童委員の人数と活動費等については。

民生児童委員の人数は81名で、その活動費として502万円を予算計上。また、そのほかに1人暮らしの方に声掛けをし、その情報を民生児童委員に毎月報告してもらう連絡員も70～80人いる。

地域で役割が期待される公民館の現状は。

町内には公民館は15館あり、それぞれ館長1名、審議員は5名ずつ配置。ただし、中央図書館は教育委員会の職員が館長を兼ねており、同じ建物に宇出津公民館長と中央図書館長がいる。

中谷家の保存活用事業が予算計上されている。中谷家が国指定の重要な文化財に採択されればとの思いをもって調査を進めている。

上水道石綿管の老朽管更新計画を説明せよ。

平成30年度は石綿管更新事業を全体で3km、平成34年度までに残りの石綿管15・2kmを全て更新する計画を進めたい。

病院事業会計について

29年度は入院患者が減ったが、外来患者が増えている。その現状を聞く。

医師の常勤化で安定して外来患者が増えている。具体的には小児科、耳鼻咽喉科、内科が増えている。残念ながら小児科や耳鼻咽喉科は多くの入院患者が見込めない診療科とされている。それでも町民の医療、安全を考えて必要な診療科として設置、運営している。

中谷家の保存活用事業が予算計上されている。中谷家が国指定の重要な文化財に採択されればとの思いをもって調査を進めている。



議案をチェック

3月定例会議の議案質疑

平成30年3月定例会議の議案質疑では、10名の議員から24件の質疑がありました。

主な質疑、答弁は次のとおり。

問 宮田勝三 議員

歳入の違約金について

公取の処分による違約金について、総額と、納付がいつまで発生するのか。

答 農林水産課長・建設課長

農林水産業の総額は、約1385万円、平成34年までの10年間です。土木関係費の総額は、約591万円、平成34年までの残り分は、約174万円です。

問 宮田勝三 議員

木の駅プロジェクトの

予算が減額となっていないが。

答 農林水産課長

木の搬出量が29年度は、従前から激減した。搬出量が増えれば、増やしていきたい。

問 田端雄市 議員

事業譲渡のスキームを説明せよ

説明せよ

柳田食産が経営的に厳しい状況にあり、公社が事業を譲り受けるにあたり、町が5000万円を出資する。このスキームの中で、食産は、出資の限度で責任をとり、譲渡する、この出資者の合意ができてくるのか。

答 総務課長

譲渡について、食産の役員等とは協議し合意した。株主総会はまだ開か



問 田端雄市 議員

民宿施設魅力向上支援事業について

本事業で、改修が想定される具体的事例はなにか。

答 ふるさと振興課長

施設の増改築、設備の

修繕等、また、ベッドや椅子、テーブルなどの備品の経費にも充てて、宿泊者の増やリピーターの増につなげ、魅力を向上させる事業。なお、補助率は経費の2分の1で、上限300万円としている。

問 鍛冶谷員一 議員

空家対策推進事業について

前年度と比較し、500万円と大幅に増額になっている。29年度の実績に基づき、説明せよ。

答 総務課長

29年度は、特定空家(危険な空家)を9件認定し、うち6件を解体した。本年は、改善指導を強化、指導していくので、ご理解いただきたい。

問 鍛冶谷員一 議員

農林水産物加工開発センターの委託料について

前年度と比較し、約221万円の増額となっている。その理由と現況を

説明せよ。

答 ふるさと振興課長

施設利用収入及び加工品販売収入が落ちてきているその補填として、指定管理料が増加してきている。これに対し、本年は、使用料金を上げて、増加に歯止めをかけたい。

問 鍛冶谷員一 議員

借り上げ住宅の運営について

借り上げ住宅の使用料等で約2547万円が計上されている。このうち36戸の充足見込みと利用料収入を聞く。

答 建設課長

22戸分とし、約1156万円を見込んでいます。

問 鍛冶谷員一 議員

斎場管理費に対する利用収入について

管理費約5081万円に対する利用収入を確認したい。

答 環境対策課長

斎場使用料として、28年度の実績、火葬367件他を踏まえて、107

9万円、多目的交流センター利用、300件の実績を踏まえて、約6436万円、合計 約7516万円を計上しました。

問 酒元法子 議員

国民健康保険税改定について

当初、保険税は横ばい、との試算であった。結構高くなっているようなので、中身を説明せよ。

答 健康福祉課長

前年9月時点の県の試算は、平成27年度決算によるものであり横ばいになる状態であったが、納付金を決定する段階では、平成28年度決算で計算されたため説明のとおりになった、ご理解願います。

問 酒元法子 議員

森林整備地域活動支援事業について

具体的な事業内容と決定している事業計画を示せ。

答 農林水産課長

小規模で分散している森林をまとめ、一体的に

施設を行う集約化を進めることにより、効率的な林業生産活動につなげていくための森林境界の明確化などを行う事業である。能登森林組合が事業主体となり、今年度は北河内と当目地区の山林80ヘクタールを予定している。

酒元法子 議員

創業・継承支援事業について

1615万円が計上されているが、具体的事業と実績について、説明せよ。

ふるさと振興課長

28年度に定住促進事業としていたものを、地元の方も事業承継に利用するものとして、商工業振興費に計上した。事業の対象経費の2分の1あるいは300万円のいずれか少ない額を交付するもの。28年度には、4件、約1060万円を補助、今年度は1件で、上限300万円を補助した。

金七祐太郎 議員

高齢者運転免許証自主返納支援事業について

本事業の内容、29年度中の返納件数、本年の目標件数を示せ。

総務課長

自主返納する65歳以上の方に、能登町共通商品券2万円を交付。

返納件数は、28年度が54件、今年度2月までで78件の申請があった。

椿原安弘 議員

借金総額の何割が、地方交付税の算入になるか。

新年度予算の借金総額

が、約362億円、この地方債には、事業により交付税が算入され、町の実質的負担が軽減されることとなる。交付税算入は、この何%になるか。

企画財政課長

一般会計、特別会計及び事業会計により、算入率は違うが、全体で約62%を見込んでいる。残りの38%で、実質的負担は、138億円程度になる。

椿原安弘 議員

個人番号カードについて

カード交付金の交付先とカードの交付枚数、全体の何%になるか。

町民課長

交付先は、全国の自治体が作成委託している地方公共団体情報システム

機構である。交付枚数は、1432枚、8.1%である。今年度は、10%を目標とする。

椿原安弘 議員

浄化槽設置整備の推進方策について

町の第二次総合計画

で「快適で衛生的なまちの創造」を掲げているが、1年間で、30基ではなかなか進まない。その取り組み方策を説明せよ。

上下水道課長

下水道事業に対する社会情勢の変化や設備投資に対する効果等を検討し、効率的な汚水処理施設整備の手法の選定のため、アンケート調査を行い、総合的な判断をした。結

果、合併浄化槽による個別整備が費用対効果などに優れているとして、同

事業により下水道整備を推進することとした。28

年度までに、428基を整備、29年度も30基を整備した。ご理解願いたい。

市濱等 議員

PCB廃棄物処理事業について

本事業について、誰が何処で、どのように事業をするのか、説明せよ。

環境対策課長

人体に有害物質であるPCB。今回法改正により、処理の義務付けがさ

れた。この処理に向け、調査費を計上した。調査対象は372施設を予定している。専門業者は、富山県、北海道の業者を予定。

市濱等 議員

水道施設費について
旧管路の耐震化や石綿管の取り換え事業などについて、具体的に説明せよ。

上下水道課長

配水施設整備費に約3億1000万円を計上。

鶴川、崎山、真脇、白丸地区の老朽管の更新及び石綿約3キロの更新整備

です。とくに石綿については、30年度から34年度までで、残り18・2キロの全てを更新します。な

お、老朽管更新の効果は、11月末現在、有収率は76・1%になっている。

南正晴 議員

農山漁村振興交付金事業の内容について

本事業、183万円の

内容は、春蘭の里が宮地、鮭尾、山田地内で、空き家七軒を農家民宿用に改修する事業計画である。改修を行い、民宿開業に意欲ある新たな経営者を受け入れするもの。

南正晴 議員

畜産競争力強化対策整備事業の内容について
農林水産課長
本事業、200万円は、

全農石川県本部が旧内浦放牧場で、100頭規模の牛舎を新築する予定で

ある。町は、能登牛の里施設整備事業により、1

頭あたり2万円なので、100頭で200万円を補助するものである。

南正晴 議員

能登立国1300年事業の内容は

能登半島広域観光協会が主体となり、能登地区9市町で負担し、記念事業を行うもの。具体的事業案は、これからです。

ふるさと振興課長

志幸松栄 議員

鳥獣被害対策事業費の前年度との比較は、また、鳥獣とは、イノシシだけのなか。

農林水産課長

29年度は、約885万円、今年度は、約1058万円です。鳥獣には、イノシシ以外は入っていません。
(その他、馬場等議員からも質疑がありました)



室谷文音、ポール・ムタス夫妻



インタビュー

『能登に住んで』

今号は、内浦長尾に住む『アトリ工桃花林』を拠点にして活動されている叙情書家の室谷文音さんと、ご主人のポール・ムタスさんのご夫婦にお話を伺いました。

ポールさんが学んだ、とてもユニークな教育体験を聞かせて下さい。

私はドイツのベルリンで生まれましたが、11歳の時にイ

ギリスの『サマーヒル』という全寮制のフリースクールへ進みました。普通の学校のようには国語の時間や算数の時間は特に決められておらず、人間として学び、成長することが求められ、とても自由な校風です。

話し合い、議論を重ねて決定し、それを実行し、さらにチェックすることがルールでした。そんな学園体験が私の財産になっています。町や議会も同じだと思います。

能登町に住んで感じたことをお話し下さい。

能登は海も山も空気も豊かな自然に溢れ、魚もお米もおいしくて素晴らしい所だと思います。

ヨーロッパでは今、観光旅行ではなく、体験型のエコツーリズムが盛んです。能登に来て、祭りに参加したり、オーガニック・有機農業を体験したり、工芸や書に触れる旅を提案したら色んな国からたくさんの人々が来てくれると思います。能登にはそんな魅力があることを活かしてください。

ただ少し改めなければいけ

ない事もあります。私は毎日のように五色ヶ浜やその近くを散歩していますが、プラスチックのゴミや、缶やビンをたくさん拾います。ドイツではペットボトルやビン、缶をお店に返すと、その分のお金をもらえます。だから誰もビンや缶を捨てません。もしそんな制度を能登町から始めたら、クリーンな町として有名になってたくさんの人々が来ると思います。

能登町での生活についてお

仕事は？

文音さん

私は書の体験や親子教室。久田和紙や仁行和紙の能登和紙を活かした創作活動を中心にして仕事をします。

ポールさん

二人で英語、ドイツ語、日本語ができるので、力を合わせて翻訳や通訳の仕事を主にやっていきます。皆さんが英語やドイツ語で書いたり、伝えたいしたいことがある時は声を掛けてください。心に響き、繋がる翻訳、通訳をさせてもらいます。

次の定例会議は6月6日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。

ぜひ傍聴にお越しください。議場が平成 27 年 3 月より能都庁舎に変わっております。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

新年早々から寒暖の差の激しい日々が続いています。桜の開花も例年になく早かった。町の将来に重大な影響を及ぼす膨大な予算を執行する新年度の始まりです。

予算の執行状況等をどれだけ速やかに広報できるかが課題と捉えています。

広報編集特別委員会も研鑽を重ね期待に応えたいと頑張っています。

委員 市濱 等

広報編集 特別委員会

委員長 市濱 雄市

副委員長 市濱 等

委員 小路 政敏

酒元 法子

椿原 安弘

鍛冶谷 眞一